

法心道中金剛果鞋
十六

白山卷詣

逍遙文庫

文庫 6

1004

16



文庫6
1004
16

白山方言修行金草鞋

元正天皇養老年中越の大徳をめて白山と阿久戸四時
 雪のり故小越のあり山とのしき加賀の白山といふ
 加越の坂ありて畧者越中へ跨る大山なり阿久戸
 より百有余年の後弘仁十四年越前を分て加賀
 國とありといふと云ふ加越中又越路ありて當山祭神と
 妙理大権現と號し中堂本尊の茶師如來寺と平
 泉寺といふ程三山をめぐり神佛兩部の靈場と成
 衆峯を登り雲外小徑清泉進谷小智さなぐれ
 折道羊腸をめぐり數百年來の大繪馬物
 堂社に殊小巍々としく

か

き

久く教マアスなり。

本宮

金御前
大御前
別宮
越南知
加宝王子

瓊杵尊
伊弉諾尊
伊弉册尊
大己貴尊
火々出見尊

不勤明王
十一面觀音
聖觀音
阿彌陀
虚空藏

三社といふとも祭るところ五社なり。立山持現みひと
く靈驗ありてまはまより信作の結人毎年
六月中旬より七月中旬よりするす。清淨無染しく
麓に登山は加賀より登る。大正持の東南麻生か
のむること九丁八丁あり。予越前ののこり指する人

け紙のなをあるは九深山出冥の地中を陰
魂山神等の奇怪ありての山中天狗まゝ不正の
根小立山はふと死の祟と云はれり。立山白山
俱に北國希有の冥山ありて。参詣の必道と云ふ留
あふのせ。立山紀約十八編の巻は編をいひ
事遠坂の人くおまのる旅約の便と云ふとあるを。
文政十二年己丑春發 十返舎一九誌

羽州湯殿山 参詣紀行 方言修行金草鞋 金六冊追而出来

先達る十七編の巻ふあふの表紙をある。立山白山
系指の紀行を編板約のしゅう市和堂の中より出
板の法のしゅう市和堂のしゅう市和堂のしゅう

流月自施の真寶無の真寶無の真寶無



松任



金澤の野市



新井の寺



水島



小松の二



月津の二

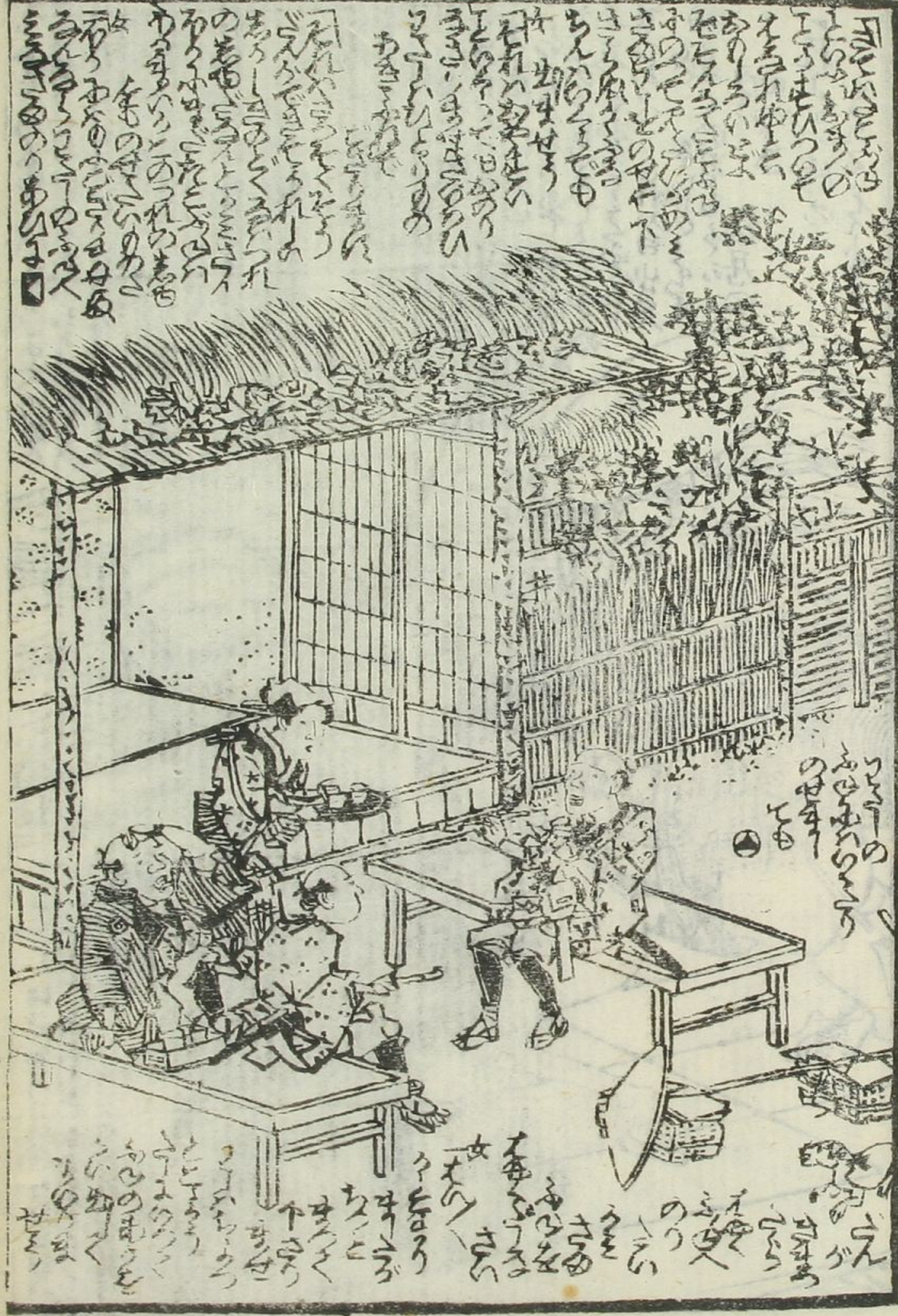


金づ津半



カ...

多長崎



松の園子



大野の野



半リ 森 堂



此の村の人は、昔より
 山に近く、田を耕し、
 桑を植へ、絹を織り、
 生活を送る。村の中心
 には、森の堂があり、
 村人たちは、ここで
 集まり、神事を行ふ。
 村の歴史は、古く、
 名もなき。

森の堂の歴史は、古く、
 村人たちは、ここで
 集まり、神事を行ふ。
 村の歴史は、古く、
 名もなき。

半リ 瀬 之 一



この山は、昔より
 名もなき。村人たちは、
 山に登り、神事を行ふ。
 山の歴史は、古く、
 名もなき。

美艷仙女香一色甲斐
 せん女おのの山おのの山
 多々南て全町三目りり乃乃坂本氏製

江戸 難



麻生 津



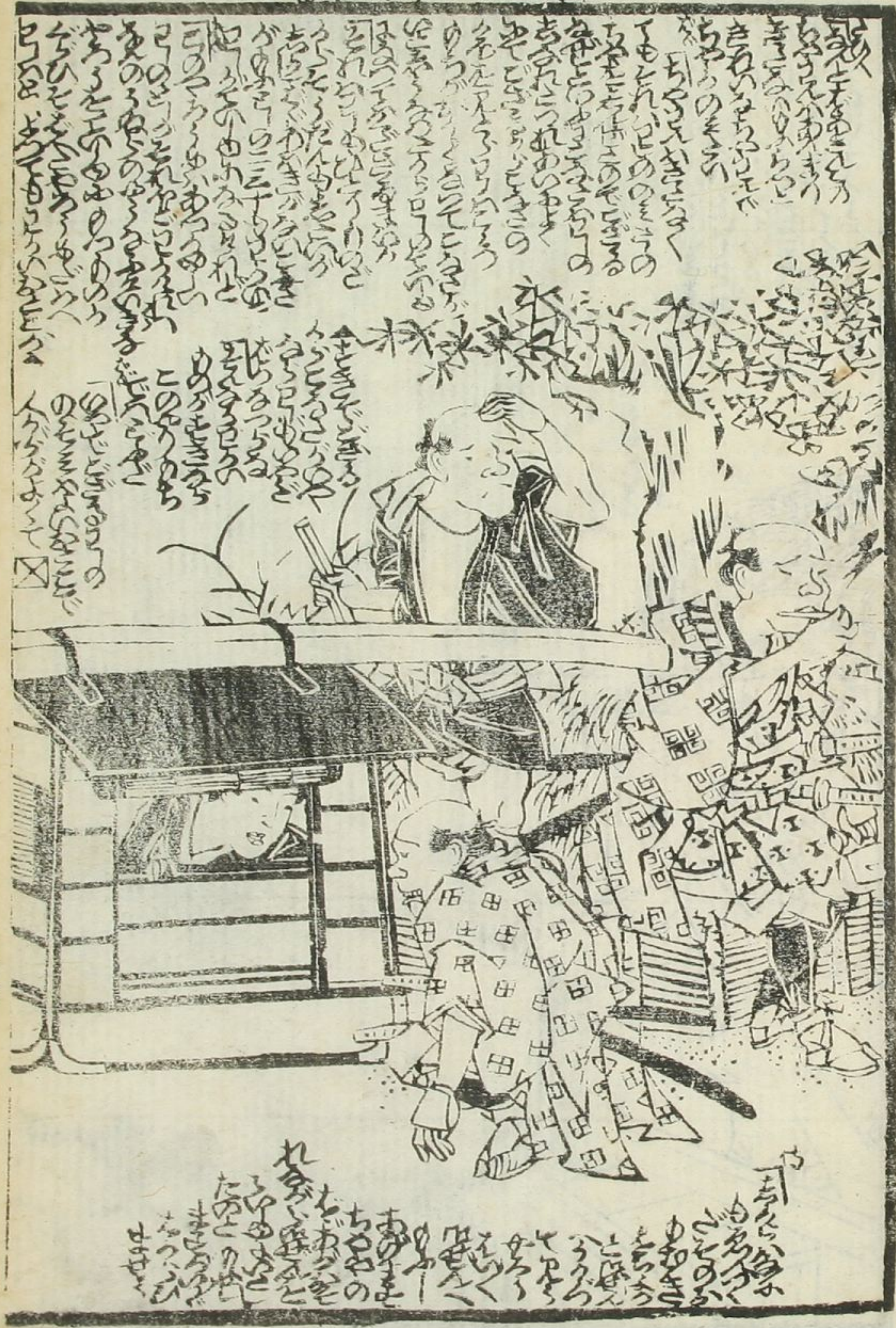
今宿



南中



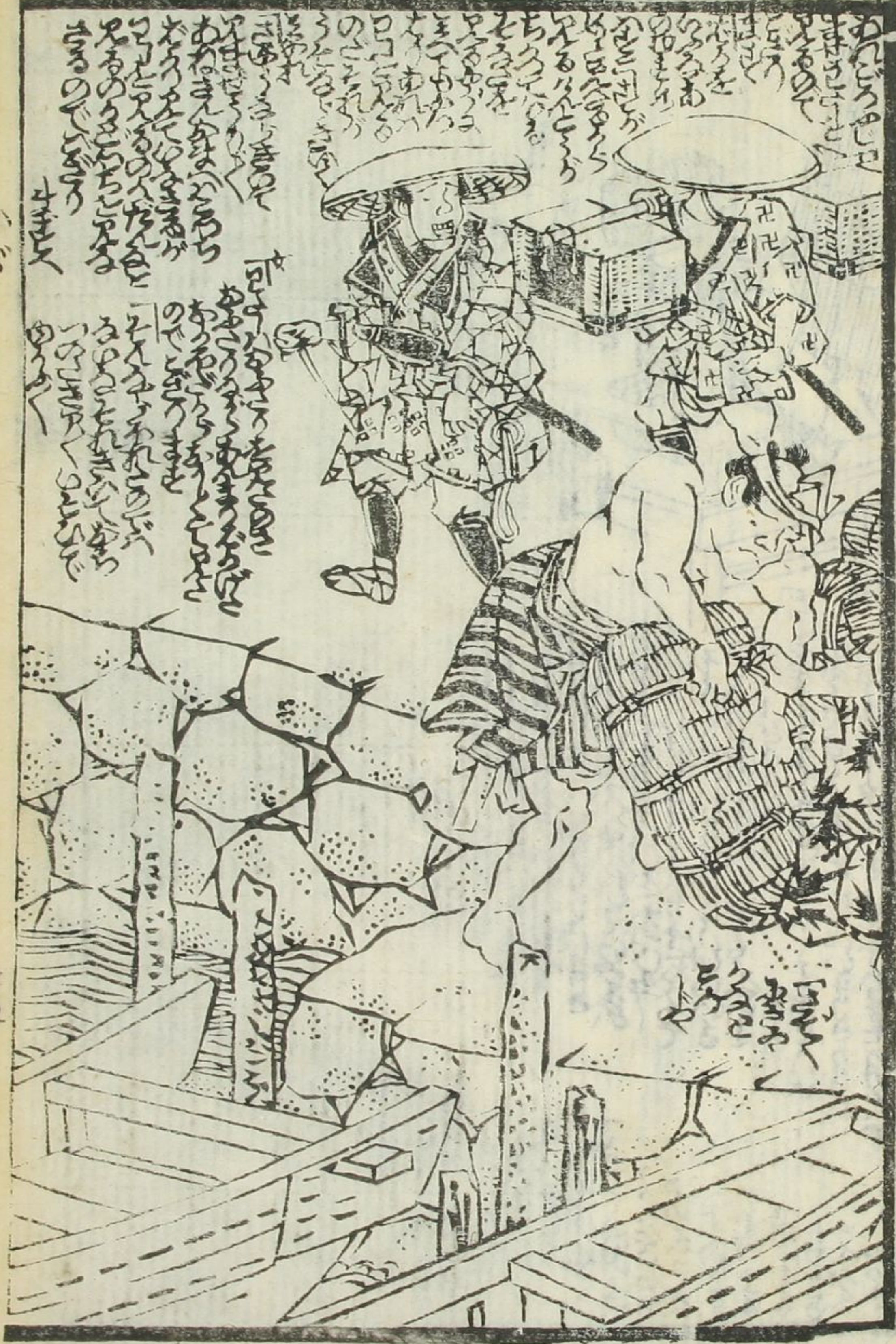
山宿 中



山宿 中



今津



海津



大 津



河 原 市



木 戸



此のすし屋は
 江戸の有名な
 店である。此
 のすしは、魚
 を新鮮なまま
 に切って、酢
 のしそで味を
 つけ、おひた
 すにのせて食
 べる。此のす
 しは、江戸の
 文化の象徴と
 して、今でも
 人気がある。

水 松



此の水松は、
 江戸の有名な
 名産である。
 此の水松は、
 水松の木から
 採れる。此の
 水松は、江戸
 の文化の象徴
 として、今も
 人気がある。

川 楮



Handwritten text in Japanese characters, likely a poem or commentary related to the illustration. The text is arranged in vertical columns, following the contours of the scene.

仁 和



Handwritten text in Japanese characters, likely a poem or commentary related to the illustration. The text is arranged in vertical columns, following the contours of the scene.

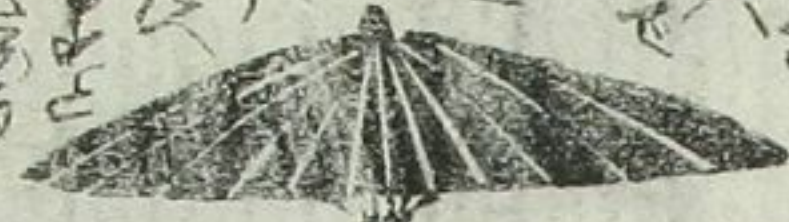
カ

セ



津大

... (vertical Japanese text) ...



... (vertical Japanese text) ...



二

三

津大

... (vertical Japanese text) ...



... (vertical Japanese text) ...

金壽 (written vertically)

金壽



鶴の坪行部金の草鞋
 十八編の越中並山
 参詣の行と著せし
 父の順道るれは續て
 十九編の白山道中とあるに
 聖境信仰の人の便なるを
 のを戲言が語をともれとて
 見るの倦にるの爲さるる或るの
 二十編に羽衣神黒山巻物記ありて
 又及の道中津輕松前までを六くありて
 遠之國の神社佛閣記ありて里永くその
 金の草鞋の不朽をいれんと欲をふものありてとて



地獄極樂

長壽道中記

全六冊

十返舎一九著 近刻

十返舎一九著

北尾重政画

早稲田大学図書館

011688991953